

寄りの避難所（図7）や浸水危険区域がわかる機能が搭載されている。

本アプリのダウンロード数は年々増加傾向にあるものの、令和5年度現在、総人口の約半数にとどまっている（図8）。また、宇和島市内在住の全ALT 7名に調査をしたところ、半数以上の4名が「ダウンロードしていない」と回答し（図9）、外国人に普及しているとは言えない状況であり、この課題解決に向け、本アプリの外国人への普及方法についての解決策を検討した。

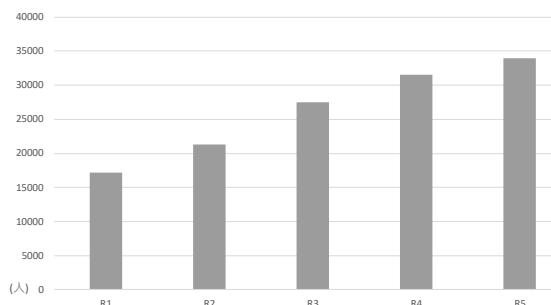


図8 伊達なうわじまあんしんナビ
アプリダウンロード数の推移

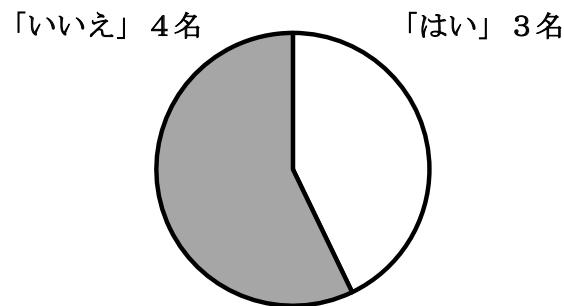


図9 宇和島市の全ALT 7名への調査結果
「伊達なうわじまあんしんナビを
ダウンロードしていますか？」

3 解決策

これらを踏まえて提案する解決策は、以下の4つである。

- (1) 新規に宇和島に住む外国人へ向けて、市役所での住民登録時にアプリの登録を推奨
新規宇和島市民全員がアプリを登録するシステムが構築できる。
- (2) すでに宇和島在住の外国人へ向けて、日本語教室や教会でアプリの登録を推奨
外国人が集まる場所でアプリの魅力を発信する。
- (3) 宇和島市で使用できるアプリクーポンの配布
先行事例として、埼玉県では災害情報を届ける「ポケットブックまいたま」というアプリを登録することで、県内クーポンがゲットできるという取組があり、宇和島市での「宇和島市地域とつながる商品券」のような取組を通して、アプリの登録を推奨する。
- (4) 外国語モードも新規機能の追加
日本語モードでは担当部署ごとに新規機能を追加し、バージョンアップごとに市民に周知しているため、アプリダウンロード数が増加している。

4 謝辞

本研究の遂行にあたり、宇和島市役所危機管理課・市民課・商工観光課の皆様には、多大なご助言、ご協力頂きました。ここに感謝の意を表します。

5 参考文献

- ・厚生労働省国立社会保障・人口問題研究所. 「日本の将来推計人口」. 2023.
https://www.ipss.go.jp/syoushika/tohkei/Popular/P_Detail2023RE.asp?fname=T01-05.htm
- ・RESAS. <https://resas.go.jp/data-analysis-support/#/populationcomposition/38/38203/1/>
- ・気象庁. 「南海トラフ地震に関する情報」. 国土交通省. 2024.
<https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/noteq/index.html>
- ・SDGs クラブ. 「SDGs17 の目標」. 日本ユニセフ協会. 2016.
<https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/17goals/11-cities/>
- ・轟木靖子・高橋志野・山下直子. 「四国における外国人の防災について」. 香川大学生生涯学習教育研究センター. 2017
- ・埼玉県ホームページ. 2022.
<https://www.town.matsubushi.lg.jp/www/contents/1589156753612/files/chirashi.pdf>